

Pmab+CPT-11 B法

Pmab(ベクティビックス[®])+CPT-11(イリノテカン)

【適応】

KRAS 遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌
RAS (KRAS 及び NRAS) 遺伝子変異の患者は適応外。

【投与スケジュール】

	Day1		Day15	
Pmab 6mg/kg	↓		↓	
CPT-11 150mg/m ² 90分かけて	↓		↓	

2週間に1回点滴を行う。

※本剤の投与にあたっては、インラインフィルター(0.2または0.22 μ)を使用すること。

※重度(Grade3以上)の Infusion reaction が現れた場合、本剤の投与を中止し、以降、本剤を投与しないこと。また Grade2 以下の Infusion reaction が現れた場合は、投与速度を減じて慎重に投与すること。

Day1、15

制吐剤 +抗アレルギー薬 30分	Pmab 6mg/kg 60分かけて	経過観察用 生食 100mL 60分かけて	CPT-11 150mg/m ² 90分かけて	ルートフラッシュ 15分かけて
------------------------	--------------------------	-----------------------------	--	--------------------

※Pmabの投与量

重傷(Grade3以上)の皮膚症状が発現した場合には、次表に従い本剤の投与量を調節すること。

皮膚障害発現時の本剤の投与量	本剤の投与	投与延期後の状態	本剤の用量調節
6mg/kg	投与延期	6週間以内に Grade2以下に回復	6mg/kg または 4.8mg/kg
4.8mg/kg	投与延期	6週間以内に Grade2以下に回復	3.6mg/kg
3.6mg/kg	投与中止		